中はとないき1変血 中はとないき1変血 と人まく日動圧 1昇もですのかあり 日し、血起健して大 のう日圧床常て大

高

動血■ きよが要高近がらこの要疾な中高 | 圧□ そまう指性血年、れと一な患どや血 | は■ もしに摘が圧、なてはつ危のの心圧 | 日□ そたなさ重□「かいよで険最循筋は | 内■ も つれ要の早でまくあ因も環梗脳 変□ てる性重朝もす知る子重器塞卒

のとれ面、常れ健関人きとる圧早い高圧、

の一つで、診は隠れ高血圧」「早朝高血圧」

で言高高そなた診ででこまが人上朝ていが睡 でなもに睡下ながすわ血血れ場血でのはのしわが昇にい状下眠とする低低眠降る続いれ圧圧が合圧測診医よたかいが急る態が中こ。のいく中しにきる (「あが定察療う」つる起な人がらもろ」が状なはまつ、 も 隠仮り正さや機な てここ血や続ず血が 通態りさすれ夜状高最ち

とをと囲診医とか管とが朝す告高発やの し受えでで療にりにに上にがさい症心人早 てけ投すは機加や負よ昇急、れこり筋は朝 もて薬と正関えす荷っすにそてとス梗脳高 血い治、常やていがてる血れいがク塞卒血 圧た療た範健、こか血こ圧はま報がの中圧

い症心人早■ リカは朝□ ス梗脳高■ ク塞卒血□ がの中圧■ 高発やの□

常と最ら。てに態いもで

することを上昇特に、早朝に

グと急早■ すイ急な低眠る態朝と睡イに と▼ サを上朝□ プ上るい中夕がま血眠プは早対発 ドラスト が昇とがのイ続で圧中が2朝と あす血早血プい高がもあつ高 あす血早血プい高がもあつ高 要 りる圧朝圧とてい高ずりの血 まタがには睡い状くつ、夕圧 因

2 早 町 高 回 国 回 国 に は □

要のすジモがで、毎特 確の早まででくが「 認か朝ずず、注な起こる飲本2飲養注換以すど高は意りこが人む酒合酒、意算上 るう血自 がまり分で習換以は 必すや」は慣算上

いがしス心の動のはン多病群時腎プ圧 まジモ ま報てな理冷脈過飲グくのと無臓はが睡すと す。告いど的え硬剰酒サ `あい呼病糖高眠 呼、 さるがス込化摂 ` | モるつ吸 `尿い中 んグ れこ関トみ `取塩ジー人た症睡病タも てと連レ `朝 `分にニに持候眠 い

と医か持が降しが薬てのすう心善こ呼し分はの 分血せ症高事ら治を毎そう の圧ん状血でう医測日の よにど続翌圧たなのい治で い相うし日剤うい飲る療に とみし朝めで談かて朝のえよみ会を高 でう忘は受血、にれ、け圧 がてて血に しす主いま効 大も主圧も よる治るで果 でま

う慣血もだ診医と を圧家っで療が がすす吸て摂飲場早 つた庭た正機けまると常男 ける肥を睡取酒合朝 まこ満引眠量量 しとをき時 ``ま血 よを改起無そ塩ず圧 よ習朝て圧健

0mル ん 耐ら本らし、 1.酒中ル 20 g 単位 計算式 ル度数15度 度数お 度数5度 @酒

号0健り康益しあで把 2康事・財よつ上握 2づ業体団うて手す く財力法 り団づ人へき 月 2 く健公まきと

編集者

健康運動指導士

肥満症生活習慣改善指導士

鍵田 忠芳